



### 審査した案件と結果

知事提出の議案	
・予算	2件(可決)
・条例	9件(可決)
・事件	2件(可決)
・人事	1件(同意)
・認定	3件(継続審査)
議員等提出の案件	
・議員派遣	3件(可決)
・意見書	3件(可決)
・決議	1件(可決)
請願	
・請願	1件(採択)

### 可決された意見書

- キャッシュレス社会の実現を求める意見書
- 私学助成の充実強化に関する意見書
- 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書

### 可決された決議

- 改正健康増進法の円滑な施行の推進を求める決議

### 採択された請願

- 改正健康増進法の円滑な施行を推進するための県議会決議についての請願書

# ながさき 県議会だより



## 常任委員会

### ◆総務委員会 委員長/大場 博文

**【質問】**長崎県迷惑行為等防止条例の一部を改正する条例に関して、条例改正の施行日を来年1月1日にしているが、その経緯と今後のスケジュールはどうなっているのか。また県民に対する周知の方法は。

**【答弁】**罰則を伴う条例改正であり、県民の日常生活に影響を及ぼす内容を含んでいることから、十分な周知期間が必要であるとともに、警察職員に対しての教養指導にも期間を要することから、来年の1月1日とした。県民に対する周知に関しては、県警のホームページに掲載するとともに、各種キャンペーン等を通じ、様々な機会を捉え周知していきたい。

**【主な論議事項】**外国人旅行者への対策について/オリエンタルエアブリッジの新規路線について/運転免許証自主返納者に対する支援の充実について 等

### ◆文教厚生委員会 委員長/近藤 智昭

**【質問】**高齢者等見守り活動に関する民間事業者との協定締結について、本県では昨年度より、県内で広域に活動している民間事業者と協定書を締結し、高齢者等の見守りを実施しているところであるが、相談件数等の実績をどのように把握しているのか。

**【答弁】**見守り事業者が異変を発見した場合は、市町へ報告する協定内容となっている。県は、見守り事業者、関係団体、市町と構成する長崎県見守りネットワーク協議会において、見守り事業者がどのような活動を行っているのか報告いただいている。しかし、見守り事業者から市町へ報告された実績は把握できていないため、今後は把握に努めたい。

**【主な論議事項】**全国学力・学習状況調査の結果について/保育士の確保について 等

### ◆環境生活委員会 委員長/里船 清隆

**【質問】**本年は豪雨災害等で各地に大きな被害が出ているが、昭和57年の長崎大水害を経験した長崎県として、防災対策にどのように取り組んでいるのか。

**【答弁】**河川関係については「長崎県管理河川流域大規模氾濫減災協議会」で、ハード、ソフトの取組についての議論を進めており、水位情報周知河川において、浸水想定区域図や、ハザードマップ等を作成し、関係機関と情報を共有している。土砂災害関係においても、7月豪雨での広島県の被害の教訓等を踏まえ、地元の実態に則した避難方法・情報提供等を検討していきたい。

**【主な論議事項】**住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅について/汚水処理人口普及率について/性的少数者対策について/バス事業以外の収入について 等

### ◆農水経済委員会 委員長/山口 経正

**【質問】**アサリ増殖手法の実証と餌料環境改善手法の検討調査業務に関し、実証と検討調査の具体的な内容は、どのようなものか。また、今後、この事業の成果をどのように活用していくのか。

**【答弁】**主な内容は、網袋式養殖の実証やへい死の原因特定、成長を促す餌料環境改善手法の検討調査である。網袋式養殖手法によるアサリの増殖技術がある程度成果をみせてきているので、これを現場に伝え、生産性の向上につなげていきたい。

**【主な論議事項】**新産業への取組について/シルバー人材センターについて/有明漁業協同組合の現状と今後の対応について/ながさ木・なごみの街づくり事業について/畜産クラスター事業について 等

### ◆予算決算委員会 委員長/高比良 元

**【質問】**消費者行政活性化事業費に関し、具体的にはどのような事業を展開するのか。

**【答弁】**県においては、民法改正に伴う成年年齢引き下げにより、若年者の消費者被害の増加が懸念されることから、市町や学校と連携し、消費者教育を推進するための環境整備を行うほか、市町においては、相談員の研修受講や、啓発物資の作成等に活用するものである。

**【主な論議事項】**地域子供の未来応援交付金事業費について/洋上風力発電関連産業創出促進事業費について 等

## 平成30年9月定例会にて活発な論議が交わされました！

平成30年9月定例会は、9月10日から10月5日まで開かれました。本会議初日は、「平成30年度長崎県一般会計補正予算(第2号)」などの議案が上程され、中村知事が県政の重要事項について報告し、当面する諸課題について所信を述べるとともに、提出議案について提案理由の説明を行いました。

一般質問では、12名の議員が登壇し、人口減少対策、長崎駅周辺地区の都市整備・交通対策、県庁舎跡地活用、道路行政、観光振興対策など様々な事項について活発な論議が交わされました。

補正予算については、本年6、7月の集中豪雨・台風7号による被災施設の復旧及び急傾斜地崩壊対策等の災害の未然防止に要する経費のほか、子どもの実態等の調査に要する経費、洋上風力発電関連分野に関する産学共同研究開発等に要する経費、ミライ図書館の施設管理経費及び郷土資料センター(仮称)の設計等に要する経費等について編成され、一般会計16億6,822万4千円の増額補正となりました。本定例会では、17件の議案を原案のとおり可決、同意し、「平成29年度長崎県一般会計決算及び各特別会計決算の認定について」など3件の議案について、予算決算委員会に付託され、閉会中の継続審査となりました。

また、「改正健康増進法の円滑な施行を推進するための県議会決議」について、1件の請願書1件が採択されたほか、「キャッシュレス社会の実現を求める意見書」など3件の意見書並びに「改正健康増進法の円滑な施行の推進を求める決議」1件を可決し、閉会しました。

### 一般質問

**特別養護老人ホームなどの入所待機者について**  
吉村 庄二 (佐世保市/北松浦郡/改革21)

**【質問】**入所待機者の状況と施設整備の実績及び今後の対応についてどう考えているのか。

**【答弁】**現在約3,600人で、このうち、要介護3以上の在宅待機者は約1,300人。また、平成27年度から29年度にかけて402床の特別養護老人ホームを整備し、県内の総定員数は7,525床。介護人材の確保が困難なため入所定員の調整を行っている施設があることから、介護人材の育成・確保に向け、きめ細やかな対策を講じていきたい。

**長崎人口減少 非常事態宣言等について**  
中山 功 (長崎市/自由民主党/県民会議)

**【質問】**人口減少の危機的状況を打開するため、長崎人口減少非常事態宣言等をして、知事の覚悟、決意を県民に広く知ってもらいたい。

**【答弁】**危機意識を共有する意味では、有効な手段の一つだと思うが、逆に、長崎県に対する不安感を招きかねないため、慎重に対応する必要がある。そのため、早い段階からふるさと教育の充実や地元企業の情報提供等によりUターンや地元定着の促進を図っていかなければならないと考えている。

**県立図書館について**  
松本 洋介 (大村市/自由民主党)

**【質問】**県立・市立一体型図書館は来年11月の開館を目指しているが、このようなサービスを充実させるのか。

**【答弁】**自動貸出機やWi-Fi環境の整備とともに、可動式閲覧機の配置などにより誰もが利用しやすい施設となる予定。また、子どもたちを対象とした参加型イベントの開催や、がんや認知症などの関心の高いテーマについて関係機関・団体等と連携し、県民・市民の課題解決のための支援サービスを注ぎたい。

**西九州自動車道について**  
西川 克己 (平戸市/自由民主党/県民会議)

**【質問】**県北地域の地域振興や活性化を促すうえで重要な西九州自動車道の早期完成には、予算のさらなる増額が必要である。沿線自治体との国への要望に対する国の回答は、今後の県の取組は。

**【答弁】**国からは伊万里松浦道路から松浦佐々道路に予算をシフトし、事業促進を図る考えであることが示された。今後も早期完成を目指し、関係市町と一体となって用地取得や地元調整など、積極的に取り組むとともに、さらなる予算確保を国へ要望していく。

**伊万里湾赤潮への対応と支援について**  
高橋 勝幸 (松浦市/自由民主党)

**【質問】**伊万里湾赤潮対策の地元要望を踏まえた今後の取組は。

**【答弁】**今年度から国の事業を活用して、佐賀県と連携した広域監視体制の強化を図っている。今後は、人工衛星等を活用した赤潮の判別と予測に関する新たな技術開発に取り組んでいく。また、佐賀県と連携して湾内の底質改善による赤潮発生及び拡大抑制の可能性を検討することにも、生産者に対し、深さを変えられる生けす網の試験的な導入を県事業により支援していく。

**県庁舎跡地活用について**  
浅田 真澄美 (長崎市/自由民主党/県民会議)

**【質問】**現在、市と協議をしており、改めて都市デザインや建築広場の専門家の意見も伺いながら検討を進めている。できるだけ速やかに検討を進め、最大限の効果を発揮し、賑わいの創出につながる活用策となるよう、整備の方針を示したい。

**【答弁】**現在、市と協議をしており、改めて都市デザインや建築広場の専門家の意見も伺いながら検討を進めている。できるだけ速やかに検討を進め、最大限の効果を発揮し、賑わいの創出につながる活用策となるよう、整備の方針を示したい。

**長崎駅周辺の都市整備・交通対策について**  
前田 哲也 (長崎市/自由民主党)

**【質問】**長崎駅周辺地区の都市整備について、県の関与と、事業進捗及び駅周辺の渋滞解消についてどう考えているのか。

**【答弁】**県は在来線の連続立体交差事業を実施し、市は土地区画整理事業により駅前広場や関連道路の整備を実施する。商業施設などの建設に伴う交通処理問題は、引き続き市や警察などの関係機関と協議を進め、新駅舎の南口改札やそれに続く歩行者デッキについては、関係者間において今後の課題となっている。

**佐世保市の渇水の状況について**  
吉村 洋 (佐世保市/北松浦郡/自由民主党/県民会議)

**【質問】**佐世保市の水道水源、渇水の状況並びに石木ダムの建設に向けての考えは。

**【答弁】**佐世保市は河川からの取水割合が大きく渇水が起りやすい状況にあるが、8月の降水量が平年の54%にとどまったこと等から8月23日に水道局渇水対策本部を設置している。石木ダムは川棚川の治水対策、佐世保市の水源不足解消に必要不可欠であり、早期実現に向けて反対地権者の皆様の協力を得られるよう、また、工事の進捗に引き続き力を注ぎたい。

**観光立県の柱となる長崎の観光活性化について**  
山口 経正 (西彼杵郡/自由民主党/県民会議)

**【質問】**2つの世界遺産の登録効果を一過性に終わらせないため、どう取り組んでいくのか。

**【答弁】**登録効果を持続性あるものとしていくためには、信伊の歴史や真の価値に直接触れることが大切であるとの考えのもと、価値を伝えるガイドの確保育成等に努めてきたところである。引き続き長崎ならではの歴史や文化の魅力発信にも努めるなどし、更なる周遊対策リピーターの創出に力を注ぎたい。

**「賢人会議」の長崎開催について**  
麻生 隆 (長崎市/公明党)

**【質問】**被爆地長崎で核軍縮の美質的な進展のための賢人会議が開催されるに当たっての思いは。

**【答弁】**賢人会議が被爆地長崎で開催されることは、大変意義深いと考えている。委員の皆様は、この会議における議論のほか、被爆者との対話などを通して、被爆の真相に触れ、核兵器の非人道性を理解していただき、世界に向けて平和を発信していただくことを期待している。機会を捉えて委員の皆様核兵器廃絶に向けた長崎の思いを訴えていきたい。

**2040年問題に対する知事の認識について**  
深堀 浩 (長崎市/改革21)

**【質問】**65歳以上の人口がピークを迎える2040年問題に対する知事の認識をお尋ねしたい。

**【答弁】**若年層の減少に伴う人材不足が、地域経済や産業活動の縮小を招くとともに、地域活動の担い手不足から、集落機能の維持そのものが困難になるなど、深刻な事態に直面するのではないかと強い危機感を抱いている。幅広い分野で議論を重ねながら具体的な対策を講じていかなければならないと考えている。

**雲仙市愛野小浜バイパスについて**  
中島 浩介 (南島原市/自由民主党/県民会議)

**【質問】**愛野小浜間の時間短縮可能な代替道路を強く望んでおり、実現できるように取り組んでいただきたい。

**【答弁】**国道57号の愛野小浜間のバイパス整備については、事業費が大きく費用対効果の面で課題がある。まずは、これまでの経緯も踏まえ、現道の機能強化を最優先に行うことが重要と考えているが、今後も課題解決に向けての議論は、引き続き行っていく。

## 特別委員会活動報告

### 離島・半島地域振興特別委員会

本委員会では、離島・半島地域振興対策、有人国境離島法対策について審査しています。8月には北海道を訪問し、離島キッチン札幌店で長崎の離島産品の取扱を確認したほか、利尻町のウニ産産センターでは、施設や取組内容等を調査しました。また、北海道庁等では有人国境離島法の支援策等の活用事例を調査しました。

### 観光振興等対策特別委員会

本委員会では、観光振興対策、国際戦略(東南アジア)、IR対策、長崎空港対策について審査しています。8月にはIR対策に関連するキャンセル依存症対策について現地調査を行いました。マカオ特別行政区キャンセル依存症回復センターでは、主なサービス、教育活動、啓発活動、研究機関や民間団体との協働について調査しました。

### 総合交通対策特別委員会

本委員会では、離島地域航路・航空路対策、地域・2次交通対策、医療・福祉・高齢者等交通弱者対策について審査しています。8月には、長崎市、大村市、佐世保市で現地調査を行いました。長崎市では、ユニバーサルツーリズムの取組やユニバーサルデザイン車両の導入等について調査しました。

### 九州新幹線西九州ルート整備特別委員会

本委員会では、九州新幹線西九州ルート整備対策について審査しています。7月には、官邸、国土交通省、財務省、地元国会議員、与党PT検討委員会委員等を訪問し、九州新幹線西九州ルート整備について、県の責任において地方負担の軽減に向けた抜本的な対策を講じていただくよう要望活動を行いました。

## お知らせ

### インターネット中継

インターネットを利用した県議会中継(生・録画中継)を実施しています。

### ホームページ・会議録

長崎県議会 ホームページ 会議録全文を掲載しています。  
【掲載内容】○平成 8年2月～30年6月定例会の本会議・常任委員会  
○平成24年4月～30年7月分の特別委員会  
◎本会議・委員会、原則としていつでも視聴できます。  
◎次回定例会は、11月27日に始まる予定です。

### テレビ放送

平成30年9月定例会の様様をまとめた「県議会リポート」を放送します。  
○平成30年10月27日(土) 15:00～15:30  
NCC長崎文化放送

## 注目情報!! ~委員会中継の視聴方法~

インターネット動画サイト・YouTube において、委員会中継(生・録画)を配信しています!

- 1 もっと知り! 長崎県議会
- 2 中ほどにあるYouTube 中継のボタンをクリックする
- 3 視聴方法や注意事項をよく読んで、最後にある下記表示から入る
- 4 視聴したい委員会名をクリックする